

政策調整会議の結果について

(日時) 令和7年1月8日(水)

(場所) 印西市役所 本庁舎3階 市長応接室

(出席者) 市長、副市長、教育長

総務部長、企画財政部長、市民部長、環境経済部長、福祉部長、健康子ども部長、都市建設部長、上下水道部長、教育部長、総務課長、企画政策課長、財政課長

【令和6-13】 印西市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について【人事課】

1. 理由及び概要

職員が自発的に能力開発や国際協力を行うことを目的に、職員としての身分保有しながら職務に従事せずに大学・大学院等の課程の履修又は国際貢献活動へ参加することができる無給の休業制度である。

当該休業結果を職務復帰後に公務へ還元することにより、公務の能率的な運営に資することを目的としている。

【令和6-13】について、承認

【令和6-14】 印西市職員の修学部分休業に関する条例の制定について【人事課】

1. 理由及び概要

職員が自発的に能力の向上を目的に教育施設で修学をするため、勤務を継続しながら部分的に休業することができる無給の休業制度である。

当該休業結果を職務復帰後に公務へ還元することにより、公務の能率的な運営に資することを目的としている。

【令和6-14】について、承認

【令和6-15】 印西市政策アドバイザーの選任に関する要綱の制定について【企画政策課】

1. 理由及び概要

様々な市民ニーズや重要施策に柔軟かつ円滑に 대응していくため、専門的な技術、経験等を有する外部人材を活用し、より効果的な行政運営を図る。

【令和6-15】について、承認

政 策 調 整 会 議 付 議 書

整理番号	令和 6－13	付議年月日	令和 7 年 1 月 8 日
所管部課名	総務部人事課		
件 名	印西市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について		
理由及び概要	職員が自発的に能力開発や国際協力を行うことを目的に、職員としての身分を保有しながら職務に従事せずに大学・大学院等の課程の履修又は国際貢献活動へ参加することができる無給の休業制度である。 当該休業結果を職務復帰後に公務へ還元することにより、公務の能率的な運営に資することを目的としている。		
問題点及び調整事項	運用方法及びガイドラインの作成		
関係法規及び関係所管	地方公務員法（昭和 2 5 年法律第 2 6 1 号）第 2 6 条の 5		
対応方針	令和 7 年 1 月 2 1 日開催の法令審査委員会に諮り、3 月議会にて上程。		
※決定区分	<div>1・承認</div> <div>2・継続審議</div> <div>3・却下</div>		

注 ※の欄は記入しない。

政 策 調 整 会 議 付 議 書

整理番号	令和 6 - 1 4	付議年月日	令和 7 年 1 月 8 日
所管部課名	総務部人事課		
件 名	印西市職員の修学部分休業に関する条例の制定について		
理由及び概要	職員が自発的に能力の向上を目的に教育施設で修学をするため、勤務を継続しながら部分的に休業することができる無給の休業制度である。 当該休業結果を職務復帰後に公務へ還元することにより、公務の能率的な運営に資することを目的としている。		
問題点及び調整事項	運用方法及びガイドラインの作成		
関係法規及び関係所管	地方公務員法（昭和 2 5 年法律第 2 6 1 号）第 2 6 条の 2		
対応方針	令和 7 年 1 月 2 1 日開催の法令審査委員会に諮り、3 月議会にて上程。		
※決定区分	<div>1 ・ 承認</div> <div>2 ・ 継続審議</div> <div>3 ・ 却下</div>		

注 ※の欄は記入しない。

政 策 調 整 会 議 付 議 書

整理番号	令和 6 - 1 5	付議年月日	令和 7 年 1 月 8 日
所管部課名	企画財政部企画政策課		
件 名	印西市政策アドバイザーの選任に関する要綱の制定について		
理由及び概要	様々な市民ニーズや重要施策に柔軟かつ円滑に对应していくため、専門的な技術、経験等を有する外部人材を活用し、より効果的な行政運営を図る。		
問題点及び調整事項			
関係法規及び関係所管			
対応方針	・ 要綱の制定 ・ 令和 7 年度当初予算計上（委託費）		
※決定区分	1 ・ 承認 2 ・ 継続審議 3 ・ 却下		

注 ※の欄は記入しない。